

ペットショップ BOW-MEOEW 適正飼育試験解答（犬編） V1.0.0

Q.01 譲り受けた子犬を迎えに行く時期として最も適しているのは次のうちどれか？

- 1.午前中
- 2.夕方
- 3.夜
- 4.いつでも

子犬は環境の変化に敏感です。はじめて家族として迎え入れるのは午前中がいいでしょう。なぜなら、親や兄弟から離された子犬には悲しみや恐怖、不安などのストレスがかかります。そのため鳴き続けたり、元気がなくなったりします。夕方や夜に迎えに行くとその不安が夜中まで続き夜泣きの原因になります。また、はじめての飼育の場合分からないことも多くあります。そんなとき夜中になってから問題が起こってもショップや病院、友人などに助けを求めたくても求められないことがあります。

できれば家族みんなで時間に余裕をもって午前通に譲り受けに行き、いままでの生活環境やこれからのことについて十分にアドバイスを受けましょう。

Q.02 次のうち迎え入れた子犬にストレスがかかりニュー・オーナー・シンドロームとよばれる状態を引き起こすため注意すべきことはどれか？

- 1.寝ている子犬を起こさない
- 2.子犬の生活ペースを乱さない
- 3.1週間は予防注射をしない
- 4.すべて

新しい環境となった子犬にはかなりのストレスがかかります。このため正式にこのような病気になるわけではありませんが、俗にニュー・オーナー・シンドローム（新しい飼主症候群）と呼ばれる状況になることがあります。この状態は迎え入れ後最初の2～3日に最も強く現れますが、1週間程度までは注意が必要です。これを回避するには、子犬の生活パターンを乱さないことが最も重要になります。特に小さなお子さんがいらっしゃると新しい家族がふえた事がうれしくてついつい子犬の生活パターンを乱してしまいます。「寝ている時は寝かせておいてあげて、起きてから一緒に遊ぼうね」とアドバイスしてあげてください。その他、食事や遊びの

ペースを乱さない。シャンプーや予防注射等ストレスのかかることは 2～3 日。できれば 1 週間は避けるようにしましょう。

できれば譲り受け時に動物病院で処方されるようなペースト状の栄養剤などを購入しておき元気がないようなそれらで糖分や栄養分を補給してあげる。食欲がないようなら早めに動物病院を受診することをお勧めします。最悪の場合死に至ることもあります。

Q.03 犬にとってしつけの時期として生後 3～12 週齢は人間社会や犬の社会に慣れるためにも最も大切な時期とされていますがこれを何という？

- 1.社会化
- 2.欧米化
- 3.自動化
- 4.適正化

社会化とは犬にとって成長過程において最も重要なプロセスのうちのひとつです。本来犬は大変賢く優しい動物です。この時期にまちがったり、愛情のない飼育・しつけを受けると、人間や他の動物に恐怖心を覚えたりして攻撃的な犬、臆病な犬になったりします。

攻撃的で噛む犬、臆病な犬、問題行動を起こす犬などというのはきちんとこの社会化ができていないということです。これは犬だけのせいではありません。きちんとした社会化プログラムを行わなかった飼主の責任も大きいのです。

Q.04 家族の食餌の順番として正しいものは次のうちどれか？

- 1.家族の食餌の後に犬の食餌
- 2.犬の食餌の後に家族の食餌
- 3.家族と犬と同時
- 4.お父さんだけ後で..

犬はもともと群れで生活していて上下関係に厳しい動物です。そして上のものには従う性質をもっています。ですからみなさんは必ず犬の上に位置しなければなりません。上位の者が先に食事をするのは当たり前です。人間の家族の食事が終わってから犬に食餌を与えることを心がけてください。みなさんが先に食事をするのを見て犬は自分がみなさんよりも下位にしていることを学習します。

よくお父さんが仕事でいつも帰りが遅いご家庭では、犬がお父さんよりも上位になってしまっていることがあります。このようなことがないように、いつも家族に帰りが遅いひとがいて

犬より後に食事をするような場合は見えないところであるような工夫をするといいいでしょう。

Q.05 子犬が甘噛みしてきた場合、対処法として正しいのは次のうちどれか？

1. 「ダメ」と大きな声で叱る。
2. 「ダメ」といい払いのける。
3. 無視して部屋出て、相手をしない。
4. 噛ませたまま無視をする

現在主流の犬のしつけの基本は計画的無視です。人間にとって不都合な行為を行う場合は叱ったりせず無視をします。これは甘噛みやトイレのしつけなど共通です。子犬を遊んでいて甘噛みをする場合は叱ったり叩いたりせず、その場を離れます。子犬は甘噛みをする楽しい遊びの時間が終わるということを学習します。

トイレのしつけも同様に、きちんとできたら目一杯ほめてあげたり、おやつをあげますが、失敗したら何もしないで、取り除き効果的な消臭剤で処理します。子犬はトイレできちんとできれば褒美がもらえることを学習します。

もちろんいろいろな性格の子犬がいますので、あまり計画的無視で効果がないようであれば早めに専門家に相談しましょう。

Q.06 次のうちドッグオーナーとして間違っていることはどれか？

1. 散歩にはウンチ袋を携帯する。
2. ドッグランには発情中は行かない。
3. 放し飼いやノーリードで散歩。
4. スーパーなど犬連れで入店しない。

野外飼育の場合、犬は繋いで飼育するというのは当たり前のことですし、法律でも決まっています。交通事故や咬傷事故の防止という面でも当然です。またこれに違反すると数十万円の罰金になります。室内飼育でも散歩に行く時はリードをつけるのは当たり前。うちの子は大丈夫なんて思っていると思わぬ事故に会うこともあります。

最近ドッグランなどノーリード OK の場所も増えてきましたが雌（めす）犬の場合、発情中はドッグラン、ドックカフェ、ペットと泊まれる宿など複数の犬が集まる場所には連れて行かないのがマナーです。

また、中にはスーパーなど禁止されている場所に平気で犬を連れて入っているひを見かけますが、これはドッグオーナーとしては最低の行為です。世の中には犬が好きな人ばかりでは

ありません。こういう行為がきちんとしているドッグオーナーの肩身を狭くして犬嫌いの人を増やすこととなります。これはマナーというよりはモラルの問題です。みなさんはそのようなドッグオーナーにはならないでください。自分では格好いいと思っているのですが、単なる笑い者です。

Q.07 次のうち特定のアレルギーがない場合でも犬にあたえないほうがよい食べ物（食材）はどれか？

- 1.牛乳
- 2.ササミ
- 3.ご飯
- 4.ジャガイモ

世間一般には牛乳神話が根強いのですが、犬は牛乳に含まれる乳糖という成分を分解できる酵素を持っていません。人間でも牛乳を飲むと下痢になる方がいらっしゃいますが、これと同じ状況です。もちろん個人差がありますので牛乳を飲んでいても下痢にならない犬もいますが、あげ続けるとそれだけ胃腸に負担をかけ続けることとなります。基本的にはきちんとしたドッグフードを与えているのであれば新鮮な水を与えれば十分です。

どうしても牛乳を与えたいというのであれば犬用の牛乳（当店にもあります）が販売されていますのでそちらを用いるようにしましょう。

Q.08 次の食べ物のうち犬に与えては行けないものはどれか？

- 1.玉葱、ネギ類
- 2.チョコレート
- 3.骨付きの鶏肉
- 4.上記全部

玉葱、ネギ類は赤血球を破壊して貧血を起こします。よく玉葱やネギ類を与えてはいけないことを知っている方はいらっしゃいますが、その煮汁等もだめだということを知らない方が多くいらっしゃいます。例えば肉じゃがから玉葱を除けばいいだろうと思って残りをあげてもネギ中毒は起こる可能性がありますので注意が必要です。

チョコレートは少量でも中毒を起こして死に至ることがありますので絶対に与えてはいけません。

鶏の骨は縦に裂けヤジリのようになり、胃や腸に刺さることがありますので与えてはいけま

せん。

現在、食餌に関してきちんとした総合栄養食のドッグフードと新鮮な水があれば十分です。

Q.09 次のうち犬の普段の食餌に関して最も適切なものはどれか？

- 1.人の残り物
- 2.手作り
- 3.総合栄養食ドッグフード
- 4.なるべく安いドッグフード

私は犬の食餌でいちばんいいのは愛情を持ってドッグオーナーが手作りしたものだと考えます。しかし犬の栄養学を熟知してきちんと食材を選び時間をかけて調理できる人がどれほどいるのでしょうか？ ペット先進国のアメリカで行われたいくつもの調査で手作りフードは栄養を満たしていないし、衛生面で問題もあったことが指摘されています。たまにはいいでしょうが常用食としてはきちんとした総合栄養食のドッグフードに勝るものはありません。

実は今のところ日本にはドッグフードに関する公的な基準はありません。ペットブームに乗じて多くの企業がフード販売にのり出していて、市場には 1,000 種類を超えるドッグフードが出回っています。しかし本当に信頼出来るものはほんの一握りです。断っておきますがいいフードは安売り店には流れていません。

フードは毎日食べるものだから一番気を使ってほしいものです。粗悪なフードで健康な一生を過ごそうなんてちょっとむしがよすぎませんか？ フード代をけちって病気になり病院にかかっているは話になりません。なによりみなさんの愛犬が辛い思いをします。プロにアドバイスを受け、きちんとしたフードを選んでください。

Q.10 成犬の食餌の 1 日の回数として最も適当なものはどれか？

- 1.1 日 1 回
- 2.1 日 2～3 回
- 3.1 日何回でも
- 4.おきっぱなし

「犬の食餌は 1 日 1 回でいい」なんていう人は犬の飼育法を知りません。犬は狼が祖先だから 1 日 1 回でいいなんていうひとがいますが、何百万年前の話をしているのでしょうか？ 犬の食餌回数は多い方がいいのです。最低でも 1 日 2 回、できれば 3 回与えてください。当然成犬になってからもです。これは 1 回の量をなるべく少なくし消化を助けて肥満を防止し、特に

大型犬は胃捻転胃拡張症候群という怖い病気を予防するためでもあります。

また、1 日中餌をおきっぱなしにするいわゆる「ダラダラ食い」は肥満や衛生面から行ってはいけません。食餌を与えて 15 分くらいで食べ残すようなら下げてしまいましょう。いつも完食するのに 2 回続けて食べ残すようであればどこか悪いのかもしれない。早めに動物病院を受診しましょう。「ダラダラ食い」ではこのような目安もつけにくいですよ！

Q.11 犬を飼育した場合、法律で義務づけられている飼主の義務は次のうちどれか？

1. 狂犬病予防注射
2. 狂犬病予防注射と登録
3. 混合ワクチン
4. 法律的義務はない。

日本では狂犬病予防法により生後 90 日を経過したら狂犬病予防注射をしてお住まいの自治体に登録する義務が有ります。またその後毎年 1 年に 1 回接種する義務が有ります。これに違反すると 20 万円以下の罰金が課せられます。

狂犬病は日本にはないと安心していている人がいますが、現在は予防接種率が低下していつ日本で発生してもおかしくない状態だと言われてます。シュミレーションの結果では発生すれば人間の死者も予測されています。世界では年間 3~5 万人も死者が出ている怖い病気なのです。しかしきちんと接種していれば何も恐れることはありません。

春に行われる注射に行けない人は動物病院で接種可能です。

Q.12 狂犬病以外に犬に必要な予防注射は次のうちどれか？

1. 5 種、8 種など混合ワクチン
2. インフルエンザワクチン
3. はしか、ポリオワクチン
4. 狂犬病以外に必要な

犬に必要な注射は狂犬病だけだと思っている不勉強な人がいらっしやいますが、実は他にもジステンパーやパルボウイルス感染症など犬の感染率、死亡率の高い伝染病がまだまだあります。伝染病の中には人にも遷るものもありますが、これら数種類が 1 本に入っている 5 種、8 種などの混合ワクチンにより予防することができます。

我々が一番注意するのは伝染病の感染です。ペット美容室、ペットホテル、病院などなど犬

の集まる場所ではこれらに感染する率が高いとされています。だからこそ我々は厳密に感染の予防を徹底し、未接種の動物の受け入れを拒んでいるのです。（よく考えてみてください。経営的には何でも受入れた方が売り上げにはなるんです。しかし、きちんと安全を考えている。そんなお店や病院を選びましょう）

伝染病予防接種のチェックをしないようなペット美容室、ペットホテル、病院（そんな病院はないでしょうが...）などはまず怪しいと思ってください。そういうところには未接種だったり不衛生な動物が集まるものです。選ぶのは皆さんです。

Q.13 犬の病気のうちで最も重要なもののうちのひとつで、蚊によって媒介され、心臓にソウメンのような虫が寄生する病気は次のうちどれか？

- 1.狂犬病
- 2.犬回虫症
- 3.ジステンパー
- 4.フィラリア症

犬を飼育するのにフィラリアを知らない方はいないでしょう...。もしも知らないようなら不勉強もはなはだしい状態です。犬を飼育する前にまだまだ勉強する必要があります。そうしないときっとあなたの愛犬は可哀相な思いをします。もう一度飼育の本を読むなり当店のホームページなどを参考に再勉強してください。犬を飼育するのはそれからでも決して遅くはありません。

犬糸状虫症（フィラリア症）は予防しなければ犬の死亡原因ナンバーワンといわれる怖い病気です。現在かなり予防率が向上してきて昔のように多く見ることはなくなってきました。これはみなさんがきちんとした知識を得て、きちんと予防されているからです。現在きちんと予防すればフィラリアは 100%予防できます。予防薬と投与時期等は地域により異なります。きちんと主治医の先生と相談してその子にあった予防プログラムを実践すればもう怖い病気ではありません。

Q.14 上記の病気は犬を飼育したら飼主の義務として当然予防をしなければならぬが、次のうち予防法として正しくない（効果がない）ものはどれか？

- 1.予防薬を月 1 回飲ませる。
- 2.蚊取り線香を焚く
- 3.定期的に予防注射をする。

4.滴下型予防薬をつける。

現在多くのタイプのフィラリア予防薬が処方されるようになりましたが、未だに蚊取り線香で予防ができると思っている人がいるのでびっくりします。蚊取り線香はフィラリア予防にはなりません。蚊取り線香だけで予防出来ると思っていて後で泣くはめになるひとを今まで多く見て来ている。みなさんはそうならないでくださいね。

また、フィラリアは地域により予防期間が違います。きちんと予防期間を守らないと予防をしていても感染することがありますので注意してください。特に月に1回の薬剤は今日飲ませると今日から1ヶ月効くのではなく、今日までの1ヶ月に入ったフィラリアの子虫を殺すのです。ですから最後の投与は蚊がいなくなって（簡単な目安は気温が15℃を下回った）次の月まで投与する必要があります。

壱岐だと普通最後の投与を11月20日以降に行えば大丈夫です。

Q.15 ノミは病気を運んできたり人にも寄生したりと怖い寄生虫ですが、気温が何度以上になると動物病院で処方される効果的な薬剤で予防をするべきとされているか？

- 1.気温 3℃
- 2.気温 13℃
- 3.気温 20℃
- 4.気温 30℃

ノミは様々な病気を媒介するやっかいな寄生虫です。当然人にも寄生します。以前はイヌノミ、ネコノミ、ヒトノミがそれぞれの宿主に寄生していたようですが、現在は犬に寄生している80%はネコノミになっています。それだけネコノミの勢力が強いということです。そしてノミは気温が13℃以上になると活発に活動を始めますので、天気予報で13℃を越える季節になったらノミ予防や駆除を積極的にはじめるのが賢いドッグオーナーです。

よく、「私の犬にはノミはいません」という方がいらっしゃいますが、動物病院で処方されるような効果的なノミ駆除剤を使っていないのであればノミがいない犬や猫はほとんどいないと言われています。大量に寄生すれば分かるかもしれませんが少数寄生だとなかなかみつけるのが難しいものです。

また、ノミは夏場の皮膚病の80%以上に関与しているとも言われます。夏場にかゆみを訴えていて効果的なノミ駆除剤を用いていなければまずノミを駆除することが一番の治療法とさえ言われます。

ちなみに欧米ではノミ駆除剤の 80%以上が動物病院で処方されるものです。市販品の中には効果がなく危険なものも多々あります。ノミ取り首輪やノミ取り粉、シャンプーはあまり効果が期待出来ないことを知ってください。ノミ駆除プログラムは主治医の先生と相談して的確に行いましょう。

Q.16 ウンチに虫が出た場合の対処法として最も正しいものはどれか？

- 1.市販の虫下しを飲ませる
- 2.薬店の虫下しを飲ませる。
- 3.動物病院に連れて行く。
- 4.ほっておく

ウンチに虫がいたからはい虫下しというのはあまりにも単純な考えです。犬に寄生する虫にはいくつかの種類があります。よく「虫が出たので市販の虫下しを何回か飲ませたのですがまだいるんです。」という相談を受けます。調べてみるとまったく違う種類の無下しを飲ませていることがほとんどです。市販されている虫下しは駆除できる虫の種類が限られています。また、「虫が出たから虫下しをください。」と言って来る方がいらっしゃいますが、まず虫の種類、他の種類が混合感染していないか？ 動物の体重などにより処方する薬が違います。ですから虫が出たら、出た虫を乾かないようにラップ等に包んでウンチと一緒に動物病院に持参する（犬の体重も知らせてください。）か、犬も一緒に来院してください。それが一番確実です。

Q.17 雌犬の避妊手術の時期として一般的に最も適している時期は次のうちどれか？

- 1.生後 2 ヶ月頃
- 2.生後 5 ヶ月頃
- 3.生後 1 年頃
- 4.1 度出産後

いろいろな見解がありますが、現在のところ避妊手術の最適時期としては生後 5 ヶ月頃が最もいいとされています。これは体がある程度発達して手術に耐えられるだけの力を持つこと。はじめての発情前に避妊手術をしたほうが年をとった時に乳腺腫瘍になりにくいことなどのためです。初回発情前に避妊手術をした場合、乳腺腫瘍の発症はほとんどみられませんが、これは発情を重ねる度に発症率が増加し、生後 1 歳半をすぎるといつしても確立は変わらないことが分かっています。

ですから子犬を生ませる予定がなければ家族で話し合っって早い時期に避妊手術をおこなったほうが有利なのです。

田舎では「一度生ませてからのほうがいい」なんてまったく根拠のないことをいう人がいますが、これはまっかな嘘です。一度生ませてから避妊手術をする利点はなにもありません。

Q.18. 犬の体温の測り方で最も適切な場所と平均体温組み合わせは次のうちどれか？

- 1.脇の下 36～37℃
- 2.肛門 38～39℃
- 3.口の中 40～41℃
- 4.おでこ 35～36℃

犬の体温は直腸温で測るのが一般的です。電子体温計の先にサランラップなどを巻いてそれをお尻の穴に入れて測ります。できれば電子体温計を1本犬用に日頃から準備しておくといいでしょう。普通の人間用で構いません。1本1,000円ほどから売ってます。日頃から月に1回程度測っておくと犬も慣れていつでも測らせてくれます。

体温は安静時で38～39℃程度。人間の平均体温より2℃ほど高いと思っておいてください。40℃を越えるようであれば早めに動物病院を受診しましょう。41℃を超えるようならすぐに受診してください。

Q.19 犬の脈拍を測定する最も適した場所は次のうちどれか？

- 1.前足
- 2.後ろ足の指
- 3.後ろ足内股
- 4.前足の付け根

犬の脈拍は後ろ足の付け根の内側。ほぼ中央あたりを走る大腿動脈によって測るのが一番簡単です。犬を立たせて真後ろに立ち、親指を太ももの外側に、残り4本の指を前から太ももの内側に軽く当ててみてください。真ん中あたりで「トク、トク、トク」という鼓動が伝わるところがあるはずです。日頃から練習しておくといざという時に便利です。

平均的な心拍数は犬の種類、大きさにもよりますが、大体1分間に80～120回程度です。これは大型犬で少なく小型犬で多い傾向があります。

Q.20 次のうち犬の乳歯が永久歯に生え変わり終わる時期はどれか？

- 1.生後2ヶ月程
- 2.生後半年程
- 3.生後1年
- 4.生え変わらない

犬の歯も乳歯から永久歯に生え変わります。時々「先生、歯が抜けた」と慌てて病院に駆け込んでくる方がいらっしゃいますが、ほぼ生後半年程で乳歯から永久歯に生え変わります、ですからこの時期にはなるべく硬いおもちゃやデンタル・コットンなどを与えて抜歯を手助けしてあげるといいでしょう。(当店でも販売しています)

また、最近はワンちゃんも長生きの時代です。若い頃から歯磨きや餌などを注意して歯の手入れを怠らないようにしましょう。詳しくは主治医の先生に相談しましょう。今は様々な歯のケア製品がありますので状況に応じてうまく使い分けることが重要です。

ちなみに犬は人に比べて歯(虫歯)はすくないものです、これは歯の形が山型であり歯垢が蓄積しにくいこと、唾液成分などが関係しますが、起こらないわけではありませんので日頃からきちんとケアしてあげてください。

余談ですが、犬はキシリトールに中毒を起こします。単純にキシリトール成分を配合した人間用の歯磨きなどを用いないように注意してください。(※犬用の製品には微量のキシリトールを配合したものもあります)

Q.21 次のうち犬には見られない病気はどれか？

- 1.アトピー
- 2.心臓弁膜症
- 3.糖尿病
- 4.風邪

犬には人間で言う感冒、俗にいう風邪という病気はありません。もちろん様々な原因による鼻炎や肺炎、気管支炎などがありますが、犬には風邪はないということを知っておいてください。時々、年配の獣医師のなかには風邪という診断名を使う人がいますが、現代の獣医学からするとちょっと時代遅れです。きちんとしたインフォームドコンセントを行っていない病院ということになります。動物病院に行つて「風邪ですね」なんて言われたらその病院はちょっと怪しいと思ってください。

また市販の動物薬メーカーでも「風邪の薬」という表現をしているところがありますが、正

式な獣医学には風邪という病気はありませんのでご注意ください。具合が悪い=風邪と表現するのは現代獣医学としてはナンセンスです。

Q.22 室内飼育犬の通常のシャンプーの回数として以下のうち最も適しているものはどれか？

- 1.年4回
- 2.月1回
- 3.月2回
- 4.毎日

種類等にもよりますが、基本的には健康であれば犬はあまり体臭の少ない動物だといわれています。体臭が気になるということで毎日あるいは2~3日に1回シャンプーをしているという方を時々見かけますが、これはシャンプーのしすぎです。皮膚表面の油分やバリアーを取り除いてしまい、かえって皮膚病等のリスクを高めてしまいます。

室内犬で皮膚病等がなければ月に2回程で十分です。多くても10日に1回に留めましょう。短毛種であっても月に1回はプロであるトリマーさんに洗ってもらい、あと1回をご自身でシャンプーをされることをお勧めします。プロのトリマーさんはただシャンプーしているだけではありません。頭の中からシッポの先までシャンプーやカットをしながらその状態を観察しているのです。異常があれば必ず知らせてくれます。

どうしても臭いが気になる方は動物病院などにおいてある石けん成分の入っていない特殊なシャンプーや薬用シャンプーなどを用いるようにしましょう。

ちなみに BOW-MEOW では壱岐動物病院と連携して、トリミング時の無料診察、通常の業務用シャンプー、様々な薬用シャンプー、日本未発売の外国製の薬用シャンプーなどを駆使しみなさまの愛犬をサポートしています。

Q.23 犬のシャンプーのしかたとして最も適しているものはどれか？

- 1.ぬるま湯を用いる。
- 2.先にブラッシングをする。
- 3.犬用シャンプーを用いる。
- 4.すべて適当

短毛種の場合はほぼ人と同じでいいのですが、長毛種は特にまずブラッシングをして被毛のもつれを取り除いてからシャンプーを行います。これをご存じない方が多くて、長毛種にいき

なり水をかけ洗ってしまうので、毛が纏れたり、からまったり、ダマになったりと最悪の状況になります。こうなるともうバリカンで丸刈りするしかありません。きちんとしたシャンプーの方法を知ってから行ってください。

まず、犬用のブラシでよくブラッシングして、犬の体温（36～38℃程度）程度のぬるま湯で全体を濡らし、犬用のシャンプー（当然ですが人用では駄目です）で全身を泡立てよく洗います。その後きちんとぬるま湯で洗い流します。特にお腹側をすすぎ残す方が多いので注意してください。最後によくタオルドライを行なうかドライヤーでよく乾かします。

できれば一度トリマーさんが行うシャンプー講習を受けるといいでしょう。

Q.24 最近犬の肥満が増えていますが、肥満になるとリスクの高くなることがわかっている病気は次のどれか？

- 1.心臓病
- 2.糖尿病
- 3.膀胱炎
- 4.上記すべて

肥満は様々な病気のリスクを高めることが知られています。正式に報告があるだけでも、心臓病（うっ血性心不全）、高血圧、糖尿病、肝臓病、膵炎、呼吸器の障害、十字靭帯断裂、股関節形成不全、膀胱炎などのリスクが高くなります。特に標準体重の25%を超えるとこれらのリスクが増加しますので注意が必要です。肥満は病気であるということを認識してください。

ですからどうも太り出したなと感じたら早めに主治医の先生とダイエットプログラムを作ることをお勧めします。

Q.25 次のうち一般にワクチンやフィラリア予防などきちんとした場合の犬の平均寿命として最も適当なものはどれか？

1. 2～3 歳程
2. 5～6 歳程
3. 10～15 歳
4. 20～30 歳

獣医学の発達とドッグフードの良質化、ドッグオーナーの飼育意識の向上などで年々犬の寿命は延びています。

一般的には大型犬で短く、小型犬で長いとされています。もちろん個人差がありますので一

概には言えませんがきちんと飼育管理を行えば、10～15年は生きると思っています。

あなたの愛犬には獣医師、獣医看護師、トリマー、ブリーダー、ドッグトレーナーなどなど様々なプロとよい関係を築き健康で幸せな一生を送らせてあげてください。私たちはそのお手伝いをしています。

疑問や難問は素人同士で解決しようとせず必ず信頼のおけるプロの力を借りましょう。そのためには日頃からきちんとしたいい関係を作っておくことです。

我々が時々悩まされることなのですが、いい加減な近所の人アドバイスを鵜呑みにして泣きを見る人を多く見えています。犬を飼っているから正しい飼育知識を持っているとは限りませんので注意してください。特にはじめて飼育する方はきちんとしたプロのアドバイスを受けて正しい知識で飼育してください。